

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 52 回 リサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) 議事録

1. 日時 2020 年 1 月 31 日 (金) 13:30~17:40
2. 場所 東京工業大学 大岡山キャンパス 北 1 号館 1 階会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 木倉 (主査), 浅見 (副主査), 白井 (幹事), 松本 (務), 松岡, 大岩, 清水, 山根, 影山, 澤, 亘, 松本 (光), 北瀬 (13 名)
(代理出席委員) 安達 (檜崎代理) (1 名)
(欠席委員) 小佐古, 水谷 (2 名)
(常時参加者) 堂守, 本田, 樋口, 下条, 村松, 工藤 (6 名)
(欠席常時参加者) 石川, 高橋 (秀), 広瀬, 蓬田, 木下 (5 名)
(説明者) 高橋 (淳) (檜崎作業会 1 委員代理) (1 名)
4. 配付資料
 - F4SC52-1 第 51 回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録 (案)
 - F4SC52-2-1 標準委員会の活動状況
 - F4SC52-2-2 原子燃料サイクル専門部会活動状況報告【抜粋】
 - F4SC52-3 第 81 回原子燃料サイクル専門部会議事メモ (81-3 関係)
 - F4SC52-4 中間報告及び標準改定提案説明の手順について
 - F4SC52-5 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1 の作業進捗状況報告について
 - F4SC52-6 原子燃料サイクル専門部会 決議投票結果について
 - F4SC52-7-1 標準改定案 (サイクル専門部会投票用 (2019.12.3) 版) に対するサイクル専門部会コメント対応一覧表 (案)
 - F4SC52-7-2 標準改定案への分科会委員追加コメント対応一覧表 (案)
 - F4SC52-8 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正前後比較表 (抜粋)
 - F4SC52-9 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 2 に関する現状報告について
 - F4SC52-10 原子燃料サイクル専門部会 標準策定 5 年計画(2020 年度版案) 【リサイクル燃料貯蔵分科会提出分】

参考資料

- F4SC52-参考 1 標準委員会 専門部会運営通則他
- F4SC52-参考 2 標準作成ガイドライン: 2018

5. 議事

幹事より、開始時の出席者の確認が行われ、決議に必要な委員総数の2/3以上の委員数を満足している旨の報告がなされた。

(1) 前回議事録確認

- 前回議事録（案）として F4SC52-1 の確認が行われ、コメントなく了承された。

(2) 標準委員会等の活動状況について

- 白井幹事より、F4SC52-2-1 及び F4SC52-2-2 に基づき、標準委員会及び原子燃料サイクル専門部会の至近の活動状況について報告がなされた。
- また、白井幹事より F4SC52-3 に基づき、第 81 回専門部会（昨年 11/7）での審議結果について報告がなされた。

(3) 中間報告及び標準改定提案の説明手順について

- 白井幹事より、F4SC52-4 に基づき、標準改定に係る標準委員会及び専門部会での審議手順について、前回分科会審議からの変更点の説明がなされた（具体的な変更内容については、次以降の議題で確認され提案どおり了承）。

(4) 作業会 1 の活動状況等について

- 松本（務）委員より、金属キャスク標準の改定作業の進捗状況について、F4SC52-5 に基づき報告がなされた。
- 今回の分科会では、専門部会投票結果対応案の審議をする。
- 専門部会投票結果を受けたコメント対応案の審議を、今回及び次回の 2 回に分けて分科会で実施する必要があるため、今後の審議スケジュール 3 か月延長することが確認された。

(5) 専門部会投票結果及び委員コメント対応案について

- 白井幹事より、F4SC52-6 に基づき、専門部会投票結果について説明がなされ、可決されたこと、投票は「賛成」であるものの、3名の専門部会委員よりコメントがあった旨報告がなされた。
- 松本委員より、F4SC52-7 及び F4SC52-8 に基づき、専門部会委員コメントに対する対応方針案の提案がなされた。審議の結果、本日のコメントを踏まえ一部表現等を見直すものの、対応案について了承された。ただし、No.4, No.19, No.22, No.23, No.40, No.41, No.42 については次々回（5月）以降の専門部会で審議してもらうこととし、次回分科会で修正案を審議することとした。

- 主な意見は以下のとおり。
 - ・ 標準作成ガイドラインで、引用されている JIS Z 8301 の扱い（年版）について、標準委員会基本戦略タスクなどで整理・検討をお願いすべき。
 - ・ コメント対応として、輸送容器標準との棲み分けの基本的な考え方をまとめて整理しておくべき。
 - ・ 次回（2月）の専門部会で審議してもらうもの、次々回（5月）以降の専門部会で修正案を審議してもらうものを、コメント対応一覧で明確にしておくべき。
 - ・ 3名の部会委員コメントについては、本日の分科会議論を踏まえ、部会前に幹事及び関係する委員より補足説明しておくべき。
 - ・ 本日説明者より口頭で補足した内容をコメント対応方針の欄に丁寧に記載すべき。（No10 及び No11）
 - ・ ツールは収納物であるものの使用済燃料とは別扱いであるため、記載を工夫すべき。（No.15）
 - ・ 許認可実績があるとの理由ではなく、分科会としての見解として回答方針案を記載すべき。（No.30）

（6）分科会委員追加コメント対応案について

- 松本委員より、F4SC52-7-2 及び F4SC52-8 に基づき、分科会委員追加コメントに対する対応方針案について説明がなされ、審議の結果提案どおり了承された。また、本内容を次の専門部会で審議してもらうことが確認された。

（7）作業会2の現状報告等について

- 松岡委員より、F4SC52-9 に基づき、中長期的対応とした課題、今後の進め方について報告がなされた。
- 作業会3の活動については、関係者で集まって協議することを確認した。

（8）その他

①標準策定5カ年計画について

- 白井幹事より、F4SC52-10 に基づき、専門部会幹事に提出した標準5カ年計画について報告がなされた。本日確認された改定スケジュールの修正点を反映し、白井幹事より専門部会幹事へ修正版を提示する旨補足がなされた。

②次回分科会予定

- 2020年4月17日（場所：東工大）

以 上